# 関西の城探訪科 第8回目 芥川山城跡 探訪

2021年11月26日(金) 9:50 J R 高槻駅中央改札口集合

● 芥川山城(あくたがわ さんじょう) について

芥川山城は永正 13 年 (1553 年) 以前に摂津・丹波の守護・細川高国によって三好山 (標高 182.69m) の山頂に築かれました。天文 22 年 (1553 年) に三好長慶が入城し畿 内の支配者として勢力を拡大しましたが、長慶没後の永禄 11 年 (1568 年) に織田信長によって三好一族は城を追われます。後年、経済活動に不向きであることなどから信長は城の機能を平地にある高槻城に移し、威容を誇った芥川山城は廃止されることになります。



#### ● 芥川山城跡への登山口

JR 高槻駅から臨時バスに乗車し塚脇バス停で下車、ガイドさんの案内で芥川山城跡に向けて探訪をスタートしました。城跡へのアクセスには「大手筋ルート」と「塚脇ルート」の2つがありますが、今回は比較的道がなだらかで、さらに山城の遺構を見学できることから後者が探訪ルートに選ばれました。



<塚脇バス停から見た三好山>



<塚脇ルートの三好山登山口>

### ● 山城の防御構造







敵の侵入を防ぐ堀切や土塁が造られています。 判別しづらいのですが、右上写真の鉄線フェンス を設置してある地面の盛り上がっている部分が 「土塁」の跡です。

道が細くなっている個所は「土橋」で堤になっています。両側には土を深く掘り下げた「竪堀」が造られています。敵が攻め上がってきた時には、 土橋を崩して敵の侵攻を食い止めます。

## ● 大手門石垣

ガイドさんの上部 両側に見えるのが 大手筋にある「石垣」です。中央は既に崩 れており、風雨等のために今も徐々に崩 壊が進んでいるようです。

この石垣は、城の防御はもちろん、大手筋を登ってくる人達を威圧する効果を狙って築かれたものだそうです。 城の近辺には石切場の跡も残っているとのことでした。



## ● 芥川城の主郭跡





「主郭」のあった場所では高槻市教育委員会の調査で本丸らしき建物の礎石が発掘されています。また三好長慶とともに配下であった松永久秀を祀った祠が建てられています。





三好長慶と芥川山城に関するわかりやすい説明パネルが複数設置されています。

主郭跡からの眺望は大変すばらしいもので、高槻の街を前景に阿倍野ハルカスを始めとする大阪市内の高層ビル群、そして生駒山とその左側には三好長慶が晩年を過ごした飯盛山を眺めることができました。



天気にも恵まれ、参加者一同 大満足のうちに下山して摂津峡公園(さくら公園)で昼食を摂ったあと、臨時バスで高槻駅に移動し 無事第8回目の探訪を終了しました。

以上